

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

11月号／2012年11月1日発行

3 つ の 目 的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

10月10日(水)
18:15～

10月例会

○会場/いわき建設会館

演題『東日本大震災後の鉄道の復旧状況』 国土交通省 東北運輸局鉄道部長 岸谷克巳氏



【要旨】

皆さん こんばんは。私は旧運輸省出身ですので元々乗り物関連の保安監査、安全上の問題点を指摘したりする仕事をしておりました。東日本大震災後1年7ヶ月経ちましたが、今日は鉄道がどの程度復旧したか、またローカル線（鉄道）の今後の方向性等についてお話をしたいと思います。

○JR常磐線における被害状況（スライド）

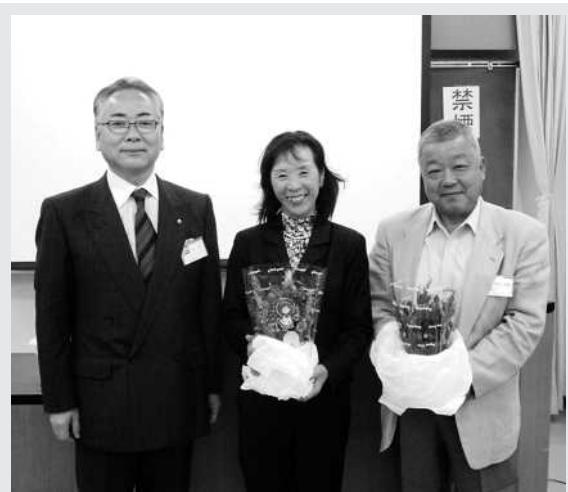
列車の被災（新地駅付近）、貨物列車（浜吉田～山下駅間）、坂元駅（宮城県）、富岡駅（警戒区域）

○東日本大震災による鉄道被害（スライド）

津波襲来の瞬間（仙台臨海鉄道）、東北新幹線の高架橋、水没した鉄道トンネル（仙台空港鉄道）、三陸鉄道（島越駅付近）

これらの被害を受けながら津波による人的被害が無かったことは幸いです。

◆誕生日プレゼント
カクテスが贈られました。



左から寺主君男代表幹事、佐久間一枝さん（10月2日生）
安田友紀さん（10月27日生）

平成23年3月17日午後2時47分東日本大震災発生
■震災直後 約4,070km運休(施設の点検等を含む)

【平成23年3月21日 震災10日後】

- 約2,300kmが復旧し、運休区間は約1,780kmに。
- 1. 震災から僅か5日後に三陸鉄道が「災害復興支援列車」運行を始める。
- 2. 震災から僅か7日後にJR貨物「緊急石油列車(盛岡)」が根岸を出発(JR東日本、青い森鉄道、IGRの協力)

【平成23年4月1日 震災21日後】

- 約2,480kmが復旧し、運休区間は約1,590kmに。
- 北東北、日本海側の鉄道は概ね復旧
- 1. 3月25日夜に「緊急石油列車(郡山行、磐越西線ルート)」が根岸を出発(設備復旧・乗務員教育等に係るJR東日本の協力)

【平成23年4月7日正午 余震直前】

- 運休区間は約1,340kmに。
- 東北新幹線は一ノ関以北で運行再開。
- 岩手県沿岸部・気仙沼へ向かう区間が全て復旧(山田線、釜石線、大船渡線)。
- 1. 運休区間では代行バス等が手配され、被災地住民等の足を確保
- 2. この日の夜の余震(震度6強等)により、再び約3,370kmが運休(施設の点検等を含む)。

【平成23年4月11日正午 震災1ヶ月後、余震4日後】

- 4月7日の余震により、内壁部や太平洋岸を中心に運休区間が拡大
- 震災1ヶ月後の運休区間は約1,840km
- 1. 翌12日には新幹線が福島以南で運行再開し、東北本線 福島～仙台を結ぶ「新幹線リレー号」運行
- 2. 13日には仙台空港が暫定運行開始、名取駅行き、仙台駅行きの代行バスを手配

【平成23年4月21日 震災41日後】

- 運休区間は約800kmに短縮。
- 1. 震災から41日後(4月21日)、東北本線が全面で復旧
- 2. 貨物鉄道も東北本線ルートで運行再開
- 運休区間は約470kmに短縮。
- 1. 震災後49日で東北新幹線が全線復旧
- 2. 仙台市地下鉄南北線が全線復旧(JR東日本のアドバイスにより工期を1ヶ月短縮)



【平成23年10月1日 震災半年後】

- 運休区間は約400kmに短縮。
- 1. 7月16日戦仙石線/石巻～矢本間(後に陸前小野間) 気動車で再開
- 2. 9月23日東北新幹線通常ダイヤへ
- 3. 10月1日仙台空港鉄道全線復旧(鉄道・運輸機構の協力)

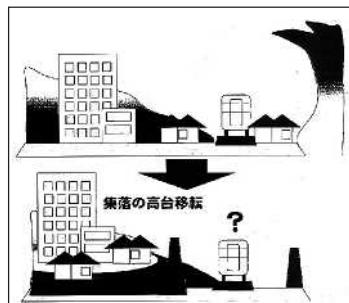
【平成24年10月1日 震災1年半年後】

- 運休区間は約300kmに短縮。
- 1. 平成23年12月21日常磐線/相馬～原ノ町間運行再開
- 2. 平成24年3月7日八戸線全線運行再開
- 3. 平成24年4月1日三陸鉄道/陸中野田～田野間運行再開

■沿岸部の鉄道の復旧にあたってのポイントは何か?

なぜここにきて、全線復旧がなかなか進まないのか。それは、自治体によって進められている復興まちづくり(高台移転、地盤の嵩上げ)と整合を図りながら、鉄道駅やルートの検討がなされている為と、今後想定される地震・津波の規模に応じて、安全な鉄道として復旧させることが必須条件が理由であります。

線路を跨ぐ複数の市町村間の調整をしなければならないため、現在6つの路線でJR沿岸部の自治体等をメンバーとした復興調整会議を設置して協議しています。



■まちづくりと一体と

なった安全な鉄道の復旧(常磐線・仙石線)の取り組み

○JR常磐線(亘理～相馬間)

・用地の買収を終えたあと、平成26年春頃から鉄道工事に着手する見込み、3年程度で運行再開を目指しています。(亘理～浜吉田間は平成25年春頃運行再開予定)

○JR仙石線(高城町～陸前小野間)

・平成27年度のうちに全線運行再開を目指しています。
(JR東日本発表)

■常磐線警戒区域内(20km)の状況

現在の常磐線は原発による警戒区域外(20km)の南は広野駅までと北は原ノ町駅以北が運行しています。尚、亘理～相馬間は先程お話しした通り未復旧です。

■最後に…JR気仙沼線におけるBRT仮復旧について

津波により甚大な被害を受けた気仙沼線の復旧に係る当面の措置として、BRT*による「仮復旧」を行うことになり、現在年内の本格運行介しに向けた準備を進めるとともに、8月20日より暫定的なサービス運行を開始しています。これらもJR東日本と沿線自治体間で合意しています。通常の路線バスに比べ定時性、速達性が高い、コストが鉄道より安価、路線の設定変更が可能、地震発生から津波襲来までの間の避難が比較的しやすい。

*バス・ラピッド・トランジット (Bus Rapid Transit, BRT) とは、バスを用いた都市域用の大量公共輸送システム

10月グループ会報告

経済特区研究会グループ会

■日 時 10月19日(金曜日)18:30~
 ■場 所 建設会館3階



講師:いわき市商工観光部産業・港湾課

主観兼課長補佐 中澤秀夫様
 同係長 平子博文様 同主査吉田利裕様

内容

東日本大震災復興特区法に基づき福島県復興推進計画「ふくしま産業復興投資促進特区」についての詳細説明及び質疑応答を行った。

- 1) 対象事業者について(製造業に関わる)
 - ①製造業②電気③情報通信④運輸⑤卸・小売
 - ⑥学術研究、専門・技術サービス
 - ⑦サービス業→あくまでも製造業関連であること
- 2) 税制上の特例措置

【国 税】

 - ①新規立地促進税制(法人税を実質5年間無税)
 - ②事業用設備等に関わる設い等に関わる特別償却または税額控除
 - ③法人税等の特別控除(給与支給額の10%税額控除)
 - ④研究開発税制の特例等(即時償却+12%税額控除)

【地方税】

 - ①県税(法人・個人事業税、不動産取得税、固定資産税)
 - ②市税(固定資産税)
- 3) 上記内容の詳細説明及び申請方法の詳細説明・対象地区
- 4) 上記内容に対する質疑応答
- 5) その他

・当内容は製造業もしくはそれに関わる企業が対象となっていることから会員からは市が申請を策定計画しているその他の業種についての特区に期待する声が多く出た。

まちづくり観光グループ会 スポーツ交流グループ会

■日 時 10月25日(木曜日) 18:30~
 ■場 所 いわき平競輪場

『いわき平競輪場視察研修』

いわき市商工観光部公営競技事務所の職員の方々の案内により、同施設の概要の説明をうけ、普段は入る事のできない検車場(バックヤード)を見学させていただいた。その後特別室において車券の種類や購入の説明を受けながら2レースほど観戦した。第2グループとの共同開催としたため、参加人数も24名と大人数となり盛況であった。

その後、場所を「だいこん家」に移し反省会をしながら会員相互の懇親を深めた。

いわきブランド研究会

■日 時 10月18日(木曜日) 17:00~
 ■場 所 グランパルティいわき

いわき経済同友会いわきブランド研究会が主体となり発足したカジキグルメ実行委員会の会議をグランパルティいわきにて開催いたしました。

始めに、武藤会長より「カジキグルメのブランド化を目指して」と題しブランド化に向けた取り組みの方向性について説明がありました。

また、先日(10月6、7日)行われた第2回Sea級グルメ全国大会の参加報告がありカジキ料理が上位を独占した等の報告がありました。

最後に懇親会へと移りテーブルには本年度カジキ料理コンテストでグランプリに輝いたグランパルティいわきの料理長齋藤信浩さんの「スマーキーなカジキの香草パン粉焼き」も提供され、あらためてそのおいしさを再確認致しました。

■いわきJCとの懇談会



(於 イタリアンコート 10月22日 19:00~)

いわき青年会議所(9名)と同友会メンバー(14名)にて開催。寺主代表に挨拶、同友会の活動報告を頂き、自己紹介を含めたグループ・委員会の活動報告をしました。

松崎副代表の乾杯後、懇親を深め、安島副代表の中締め後、お開きとなりました。【総務企画委員会】

FMいわき「いわき経済同友会だより」

下記の日時にオンエア放送いたしますので、お聴き下さい。

【11月予定放送】

- ・11月5日 まちづくり観光グループ会 渡辺 久弥 氏
- ・11月12日 スポーツ交流グループ会 四ツ倉隆裕 氏
- ・11月19日 経済特区研究グループ会 小野 英典 氏
- ・11月26日 まちづくり観光グループ会 田子 英彦 氏

●毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

●新入会員紹介●



たなかひろし
田中 寛

明治安田生命 営業支社長
業種／生命保険業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平大町7-2
明治安田生命いわきビル7階
趣味 ゴルフ、温泉

11月のグループ会ご案内

■ 経済特区研究グループ会・政策提言室 /11月22日(木) 18:30 ~

場所 建設会館 3F 『報道から見た、震災後のいわき』

講師 元朝日新聞記者 丸山 賢治氏

■ スポーツ交流グループ会 /11月27日(火) 8:40 ~

場所 五浦庭園カントリークラブ

冬を迎える前に恒例の秋のゴルフコンペを開催する。

会場は東日本大震災復興支援の為、今年半ばに急遽開催が決定した「エリエールレディースオープン(五浦庭園カントリークラブ)」にて、同大会(11.16~18)直後に日程を合わせ、ツアーが開催されたコンディションのままでのプレーを楽しんでもらう。

■資質向上グループ会 /11月17日(土) 8:00~

場所 喜多方方面 文化座財探訪

12月 通常例会(忘年会)・第2回臨時総会

12月11日(火)

■会場/スパリゾートハワイアンズ ラピータ
■懇親会 会費/5,000円

■18:30~ 例会・総会 ■下記講演会 19:00 ~ ■親睦会20:00 ~

演題『サンシャイン観光推進特区について』

講師 いわき市商工観光部

出席できない場合は、委任状の提出をお願いいたします。

バスの手配がありますのでご利用ください。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F 発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 発行 情報委員会 委員長 坂本和久
http://www.seaiwaki.jp 副委員長/小野英典・鈴木清友・
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp 竹下康照
委員/山崎勇一郎